

製品名: キマーゼウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08800**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	CMA1
別名	CMA1; CYH; CYM; Chymase; Alpha-chymase; Mast cell protease I
遺伝子 ID	1215.0
SwissProt ID	P23946
免疫原	ヒトキマーゼの内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

キマーゼ 1 (CMA1) ホモサピエンス この遺伝子は、ペプチダーゼファミリー S1 に属するキモトリプシンセリンプロテアーゼをコードする。肥満細胞で発現し、細胞外マトリックスの分解、粘膜下腺分泌の調節、血管作動性ペプチドの生成に機能すると考えられて

いる。心臓および血管において、アンジオテンシン変換酵素ではなく、このタンパク質が主にアンジオテンシン I を血管作動性ペプチドであるアンジオテンシン II に変換する役割を担っている。選択的スプライシングにより、複数のバリエーションが生じる。 [RefSeq 提供、2015 年 4 月],触媒活性: 優先分解: Phe-|-Xaa > Tyr-|-Xaa > Trp-|-Xaa > Leu-|-Xaa.,機能: 肥満細胞の主要な分泌プロテアーゼで、血管作動性ペプチドの生成、細胞外マトリックスの分解、および腺分泌の調節に関与すると考えられています。 ,類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属します。 ,類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属します。 グランザイムサブファミリーです。 ,類似性: 1 つのペプチダーゼ S1 ドメインを含みます。 ,細胞内局在: 肥満細胞顆粒。 ,組織特異性: 肺、心臓、皮膚、胎盤の肥満細胞。 ,

研究分野

レニン-アンジオテンシン系;

画像データ



キマーゼポリクローナル抗体を用いたマウス肺細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。